

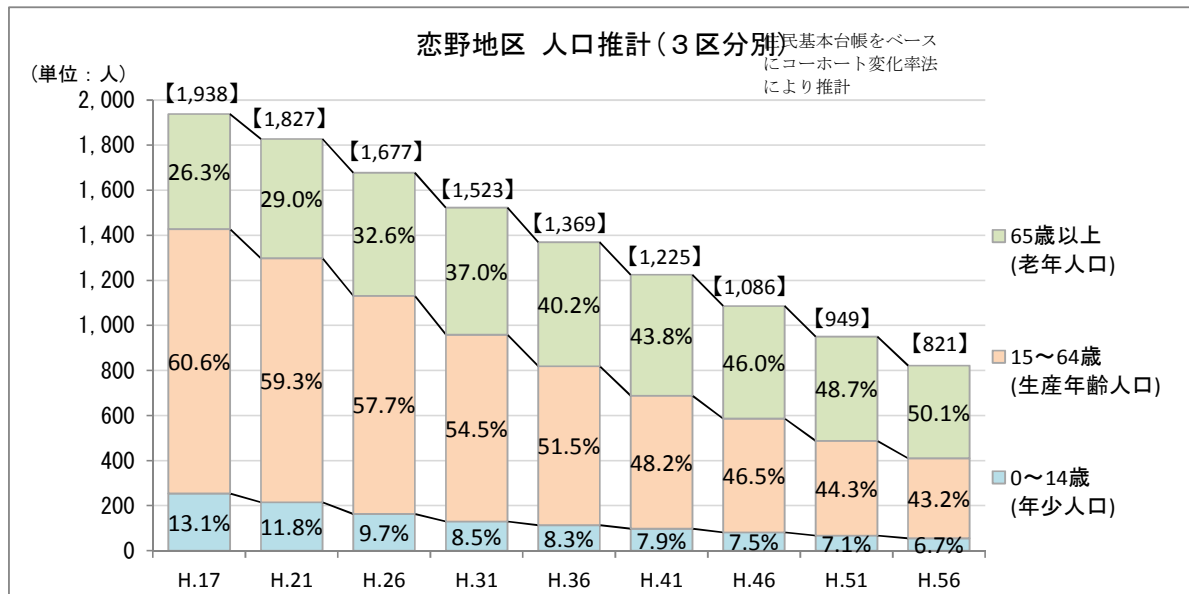
## ◎恋野地区公民館エリア

## まとめ

### ■恋野地区公民館エリアの概要、データ

人口	1,595人 (H29.3.31)
高齢化率	35.4% (H29.3.31) ※市全体30.1%
世帯数	621 (H29.3.31)
交通条件・地理的条件	鉄道：なし 市の南東部、紀の川の南側に位置する地域。豊かな自然と中将姫伝説などの歴史に恵まれた農村地域。
観光資源・特産品・施設等	やどり温泉いやしの湯、玉川峡、恋し野の里あじさい公園、中将姫史跡、恋野マッシュルーム 公共施設：恋野小学校、橋本墓園、恋野地区公民館

◎年齢3区分別人口の推計



	H17	H21	H26	H31	H36	H41	H46	H51	H56
65歳以上	510	529	546	564	550	537	500	462	411
15~64歳	1,174	1,083	968	830	705	591	505	420	355
0~14歳	254	215	163	129	114	97	81	67	55
合計	1,938	1,827	1,677	1,523	1,369	1,225	1,086	949	821

出典：橋本市公共施設等総合管理計画（基本方針編）

### ■恋野地区公民館エリアの特徴

地域づくりに活かしていきたいところ (良いところ)	改善していきたいところ (課題となっていること)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然がいっぱい。ホテルもいる。</li> <li>・公民館が立派。大きくてびっくり</li> <li>・隣近所が親切である</li> <li>・地域のみなさんに子どもたちを見守ってもらえる</li> <li>・自然災害の少ない土地。</li> <li>・名所、旧跡が多い。</li> <li>・行事等への参加やお手伝いに協力的</li> <li>・自然が多く環境が良い。人の心も良い。</li> <li>・公民館活動が活発</li> <li>・緑に包まれ、見渡す限り田畑が広がり春夏秋冬を肌で感じられるすばらしい環境です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年層の定着が低く都会等への転出が多いので地域の将来性が望めない</li> <li>・交通手段 コミュニティバスの改善、病院の送迎バスの改善</li> <li>・淋しい場所に防犯灯を増設</li> <li>・高齢者から次の世代への交代を考える。</li> <li>・夜になると真っ暗になる。</li> <li>・だんだん高齢化してきていて、人手が減少している。</li> <li>・農業の後継者が少なくなって荒れてしまう。</li> <li>・子どもが少ない。さみしい。</li> <li>・お墓の管理が気になる</li> <li>・耕作放棄地が気になる</li> </ul>

### ■みんなで作る将来の恋野地区公民館エリアの姿 (こんなまちになればいいな)

- ・自然の多い、安心して暮らせるまち
- ・恵まれた環境を武器に、他所の子ども等が遊びに来れる地域で努力し活性化
- ・定年殿退職者を地域に誘い住民数を確保。高齢者地域として活性
- ・文化、歴史を大切にす町
- ・団結力のある恋野
- ・高齢者であっても自分なりにやりたいことができる (誰かの役にたっていると感じられること)
- ・子どもの育てやすい環境にしていってほしい
- ・楽しく過ごせる地域になってほしい

### ■将来像の実現に向けての取り組み・活動

誰が	できること (何ができるかな?)
自分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のつながりをもつ (例 サークル)</li> <li>・子育て、学校行事で自分のできることがあれば手伝いたい。</li> <li>・自分の力で出来る範囲のボランティア</li> <li>・自分が健康であること</li> <li>・微力ながらも少しでも人の為につくせる事</li> <li>・たくさんの人と知り合いになっておくこと</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館の利用者を増やして生きがいづくりをする</li> <li>・法人化して皆で田んぼを守っていく</li> <li>・連絡を密にする      ・防災関係を考えていく</li> <li>・助け合うボランティアを立ち上げる。</li> <li>・地元の農業産品のブランド力をあげる</li> <li>・地域の情報を知る事が大事!</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家、耕作放棄地の利用</li> <li>・池や山を破壊せずに整備し、定着した施設等を建築し、観光、行楽に来やすくする。</li> <li>・この地域は農業を主体としていると思う。工業誘致も大事だが農業の後継者を育てる方向で、農業で生計とたてる様にする方向で進めていけばよい。</li> <li>・学童保育の設置。若い人が地域から出て行かないようにする為には、お母さんが働く環境の一環として必要。</li> <li>・働ける場所、農産物の販売</li> </ul>

※ シート左側：地区公民館エリアの特徴 右側：当日グループワークで出た意見

## ◎紀見地区公民館エリア

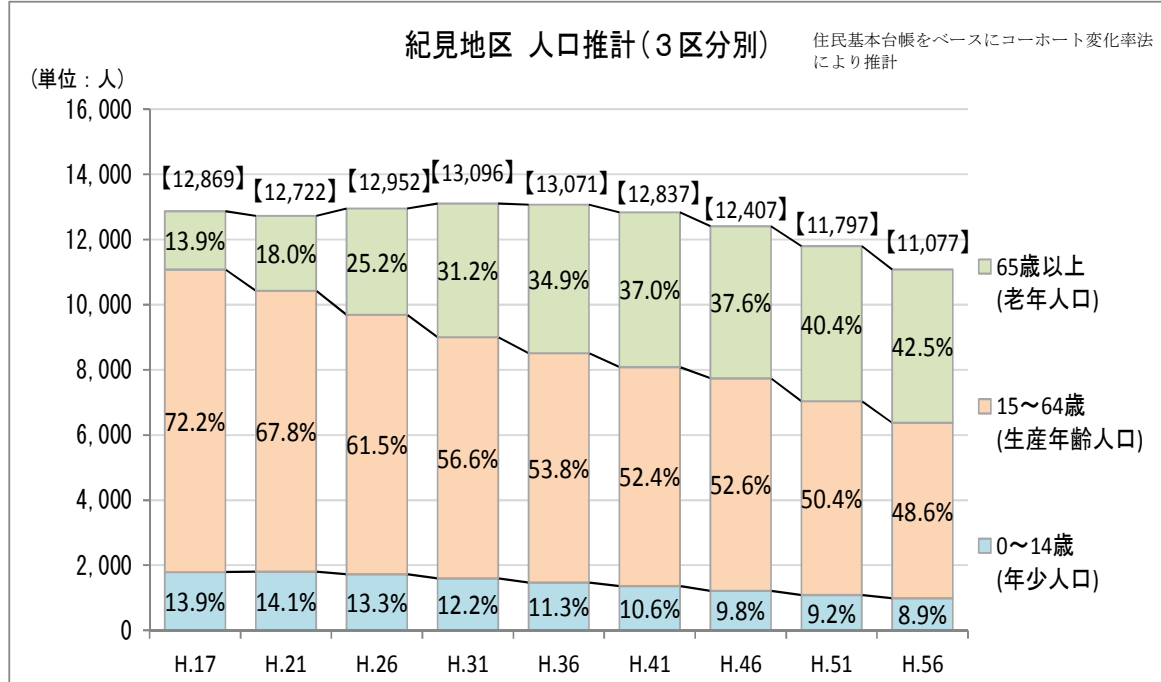
## まとめ

### ■紀見地区公民館エリアの概要、データ

人口	13,115人 (H29.3.31)
高齢化率 (65歳以上)	28.8% (H29.3.31) ※市全体30.1%
世帯数	5,247 (H29.3.31)
交通条件・地理的条件	鉄道：南海高野線御幸辻駅 市中央北部に位置し、大規模住宅開発による新興住宅地と在来地域が混在する地域。
観光資源・特産品・施設等	胡麻生相賀八幡神社、小峰寺、杉村公園、不動山の巨石 公共施設：橋本市民病院、郷土資料館、紀見東中学校、城山小学校、紀見小学校、境原小学校、初芝橋本高校

※紀見地区：さつき台、しらさぎ台、みゆき台、柿の木坂、紀見、境原、胡麻生、御幸辻、細川、小峰台、城山台、杉尾、紀ノ光台

◎年齢3区分別人口の推計



	H17	H21	H26	H31	H36	H41	H46	H51	H56
65歳以上	1,789	2,295	3,263	4,088	4,562	4,749	4,668	4,767	4,704
15～64歳	9,289	8,628	7,962	7,414	7,036	6,723	6,521	5,941	5,385
0～14歳	1,791	1,799	1,727	1,594	1,473	1,365	1,218	1,089	988
合計	12,869	12,722	12,952	13,096	13,071	12,837	12,407	11,797	11,077

出典：橋本市公共施設等総合管理計画（基本方針編）

### ■紀見地区公民館エリアの特徴

地域づくりに活かしていきたいところ (良いところ)	改善していきたいところ (課題となっていること)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災が活発</li> <li>・公民館での活動が多い</li> <li>・高齢者が元気</li> <li>・地区内いろいろな人材がそろっている</li> <li>・田んぼなどの自然が多い</li> <li>・優秀な人材が実は多い。隠れている</li> <li>・幼、保、小中の規模が良く、教育環境が整備されている</li> <li>・ほどよく田舎でほどよく都会で暮らしやすい</li> <li>・このまちを良くしたいと思ってくださっている方がたくさん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさん見所があるのに生かしきれていない</li> <li>・土地の人が少なく意見の集約が難しい</li> <li>・各年代層の繋がりがあがるのか</li> <li>・近所付き合いがない</li> <li>・空き家が増えた</li> <li>・高齢化率も高くなり、日常の交通手段、買い物場所が今後の課題</li> <li>・人が自由に集まれる場所がない</li> <li>・人間関係が薄い</li> <li>・高齢化率が高く、近隣の方とのつき合いが少ない</li> <li>・知らない人同士でも明るく元気に挨拶しあえるまちにしたい</li> </ul>

### ■みんなでつくる将来の紀見地区公民館エリアの姿（こんなまちになればいいな）

- ・子どもと高齢者の交流が盛んなまち
- ・地域ぐるみで子育てのできるまち
- ・子どもたちが安心して外遊びができるまち
- ・出会う人みんなとあいさつができるまち
- ・地域人材を生かせるシステムづくり
- ・地域で高齢者や子どもを見守る
- ・若者が地元に戻ってくるまち
- ・自然を生かした安心できるまち
- ・みんなで動いて考えるまちをつくる。文化の香りの高いまち
- ・自然の香り、文化の香りを両立
- ・世代を超えて地域（小さい地区）を超えた顔の見えるまちづくり
- ・子どもの安全を地域で見守ることができる
- ・市政だけでは難しいので、企業、商業と市が協力しあうサービスとか
- ・いろんな場面で地域住民が交流を深め、親しくなっていくことが必要  
⇒助け合い、支えあう力
- ・産業でも農業でも人でも観光面等でもいいので、  
何か他地域にない特徴があって、それを誇りに思えるような…
- ・交通が便利な買い物しやすい街に。

### ■将来像の実現に向けての取り組み・活動

誰が	できること（何ができるかな？）
自分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康でいること</li> <li>・何かをしたいと思う人を応援する</li> <li>・あいさつをして顔が見える関係を作る</li> <li>・地域行事への参加</li> <li>・他の世代、職種、事業に興味を持ち、知る、参加する</li> <li>・地域の子どもをみんなで育てるという気持ちで大切にする</li> <li>・子どもたちの郷土愛を育てる</li> <li>・当事者意識をもつ</li> <li>・結婚してもここに住み続ける</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生に企画してもらい、それを応援する（反対する人が少ないと思う）</li> <li>・高齢者見守り、孤立者をなくす</li> <li>・お隣さん同士、少しだけおせっかい</li> <li>・地域の人どうしの関わりを増やしていく</li> <li>・お互いに声掛け合って輪を広げる</li> <li>・住民の輪を広げる創意ある取り組み（行事、催し）を計画する</li> <li>・地域住民の行事、消防訓練、草刈などを計画的に行う</li> <li>・自治活動を活発にする（人任せにしない）</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋本にオリジナルなものづくり</li> <li>・グループ間のジョイントの手助けは行政の力が必要である</li> <li>・都会で働けなくなった人を戻すために環境の良い職場を作る</li> <li>・協働のまちづくりで住民に寄り添った行動がほしい</li> <li>・各エリア、地区の様子を全市に知らせたりコーディネートしたりする</li> <li>・人材活用の仕方を考える。少ない経費の中でも最高の活動ができるように。</li> <li>・積極的な企業誘致。働く場をつくる。</li> </ul>

※ シート左側：地区公民館エリアの特徴      右側：当日グループワークで出た意見

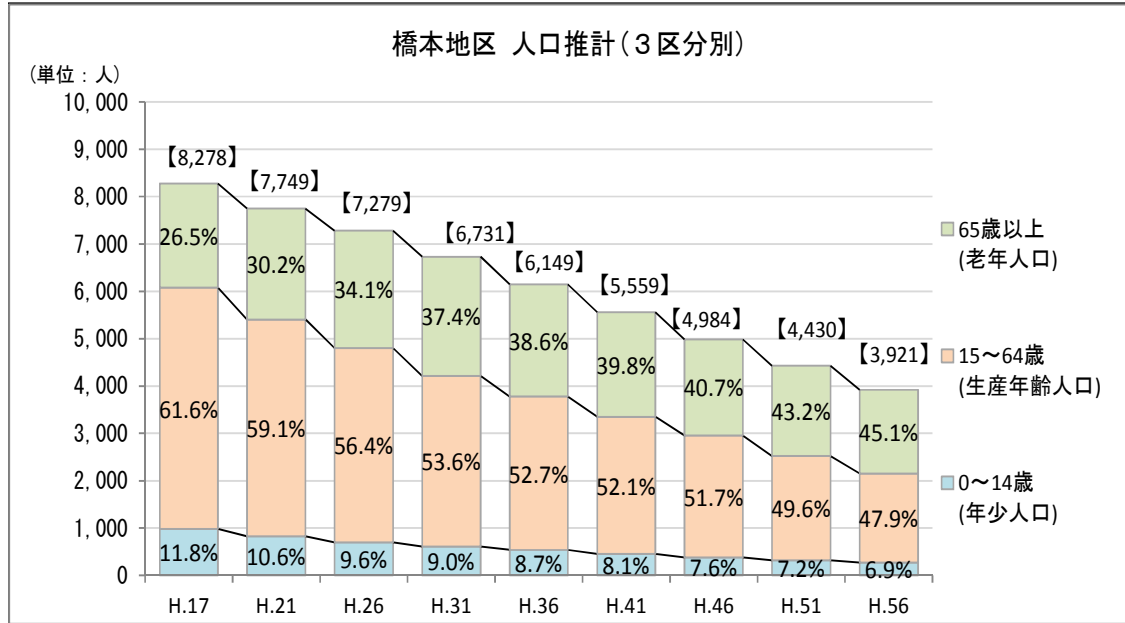
## ◎橋本地区公民館エリア

## まとめ

### ■橋本地区公民館エリアの概要、データ

人口	6,727人 (H29.3.31)
高齢化率 (65歳以上)	36.8% (H29.3.31) ※市全体30.1%
世帯数	3,176 (H29.3.31)
交通条件・地理的条件	鉄道：JR・南海橋本駅 京奈和自動車道：橋本IC 市の中央部に位置し、南海高野線・JR和歌山線、国道371号・国道24号がそれぞれ交差する市の玄関口となる地域。
観光資源・特産品・施設等	応其寺、常夜灯、四辻道標、丸山公園、運動公園、はしもと広域観光案内所、まちかど博物館 公共施設：橋本市役所、市民会館、教育文化会館、橋本警察署、伊都振興局、橋本小学校、橋本中央中学校、県立橋本高等学校

◎年齢3区分別人口の推計



	H17	H21	H26	H31	H36	H41	H46	H51	H56
65歳以上	2,197	2,344	2,479	2,515	2,373	2,212	2,027	1,912	1,769
15～64歳	5,101	4,581	4,102	3,607	3,240	2,899	2,579	2,198	1,880
0～14歳	980	824	698	609	536	448	378	320	272
合計	8,278	7,749	7,279	6,731	6,149	5,559	4,984	4,430	3,921

住民基本台帳をベースにコーホート変化率法により推計

出典：橋本市公共施設等総合管理計画（基本方針編）

### ■橋本地区公民館エリアの特徴

地域づくりに活かしていきたいところ (良いところ)	改善していきたいところ (課題となっていること)
<ul style="list-style-type: none"> <li>全体として人のつながりが良い。治安もよい</li> <li>利便性高く、気候良好、安全安心な地区</li> <li>サークル等の市民の活動が活発。</li> <li>紀の川と紀伊山地。自然に心いやされる。橋本のいいところ。</li> <li>大阪府、奈良県の県境で、和歌山県の玄関口。その中心地。</li> <li>便利がよい。市役所等があり、手続きが楽にできる</li> <li>お年寄りが元気で、老人クラブ、サークル活動が活発</li> <li>市の中心地区的イメージでいきいきとにぎやかな感じがする</li> <li>水道水が生で飲めておいしい</li> <li>神社、寺、史跡がたくさんある。案内や交通が便利だとなお良い</li> <li>駅を中心にした遠方の交通は便利</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の行事や募金活動に協力しない人が増えつつある</li> <li>高齢化率が高く、区・自治会の活動の面で難しくなってきている</li> <li>橋本市役所の正面に喫煙場所があるのはすごくイメージが悪いのでは？</li> <li>健康寿命をのばす取り組み（いきいきルームなど）情報が届いていないのでは？</li> <li>コミュニティバスの運行の仕方をもっと少し考えてほしい</li> <li>道のせまいところで車が入れないところがある</li> <li>交通の便が悪い。橋本駅まで徒歩20分かかる</li> <li>地区の伝統行事、文化財の保護等に傾注してほしい</li> <li>市議会議員が多すぎる</li> <li>色々な行事に参加する人が決まっている</li> <li>空き家が増えているように思う</li> </ul>

### ■みんなでつくる将来の橋本地区公民館エリアの姿（こんなまちになればいいな）

- ・全国に通用するようなブランドを持って全国にアピールできるまち
- ・世話好きなおばちゃんおっちゃんがいっぱいのまち
- ・地域住民が何でも話しあえる環境づくりと仕掛けを考える（サロン、協議体等の充実）
- ・古民家（空き家利用）で活動できるようにしたい
- ・元気な高齢者を目指そう
- ・子どもや孫が住んでくれる地域になればいいと思います
- ・若い人が参加できる時間を考えて、プログラムのある公民館に！（以前あった勤労会館のような）
- ・活気のあるまち
- ・自然に触れ合えるまち
- ・住民がお互いコミュニケーションが取れる地域
- ・高齢の人と若い人、子どもたちが和気あいあいと言葉を掛け合い助け合う地域

### ■将来像の実現に向けての取り組み・活動

誰が	できること（何ができるかな？）
自分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いのつながりを深める取り組みをさがす</li> <li>・若者とのふれあいを求め、古い良い慣習などを伝えることを考えたい</li> <li>・駐車場は遠くに止めてできるだけ歩く</li> <li>・自宅まわりの住民との信頼関係を深め助け合う</li> <li>・ご近所でお年寄りて困っている方がいるとき（買い物や庭掃除など）気軽にお手伝いしたい</li> <li>・出会った人には必ず声をかけるようにする</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民ひとりひとりの意見が反映されやすい区のあり方を</li> <li>・区として防災活動からつながりづくり（助け合う、協力する）</li> <li>・たすけ愛はしもと協議体の活動の活発化を図る。高齢者に対する支えあい、助け合う地域づくりに組織化の中心となりたい。</li> <li>・若者との交流会を増やそう（三世代）</li> <li>・子どもと老人との交流食事場所（子ども食堂）</li> <li>・一人暮らしが増える中、孤立しないような取り組みを考える</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり期待しない</li> <li>・高齢化で区長を受ける人がほとんどいなく引継ぎに困っているので解決策を考えてほしい</li> <li>・歩けない人が目的地まで行ける手段はないですか</li> <li>・橋本市を探索するツアーがあったらいいな（橋本一周ツアー）</li> <li>・山と川のあるまち、橋本市。紀の川の流れを豊かにし、渡し舟、鶴飼、ほたるの飛ぶ川を取り戻してほしい</li> <li>・企業誘致、アクセス整備による若者の定着化、名産品のPR&amp;企画、文化財、伝統行事の保護</li> <li>・橋本市の子育て事業（医療費等）がいいので、他県から引っ越してくる人もいますと続けてほしい</li> <li>・各地区の取り組みをコーディネートし、いい取り組みを広める</li> </ul>

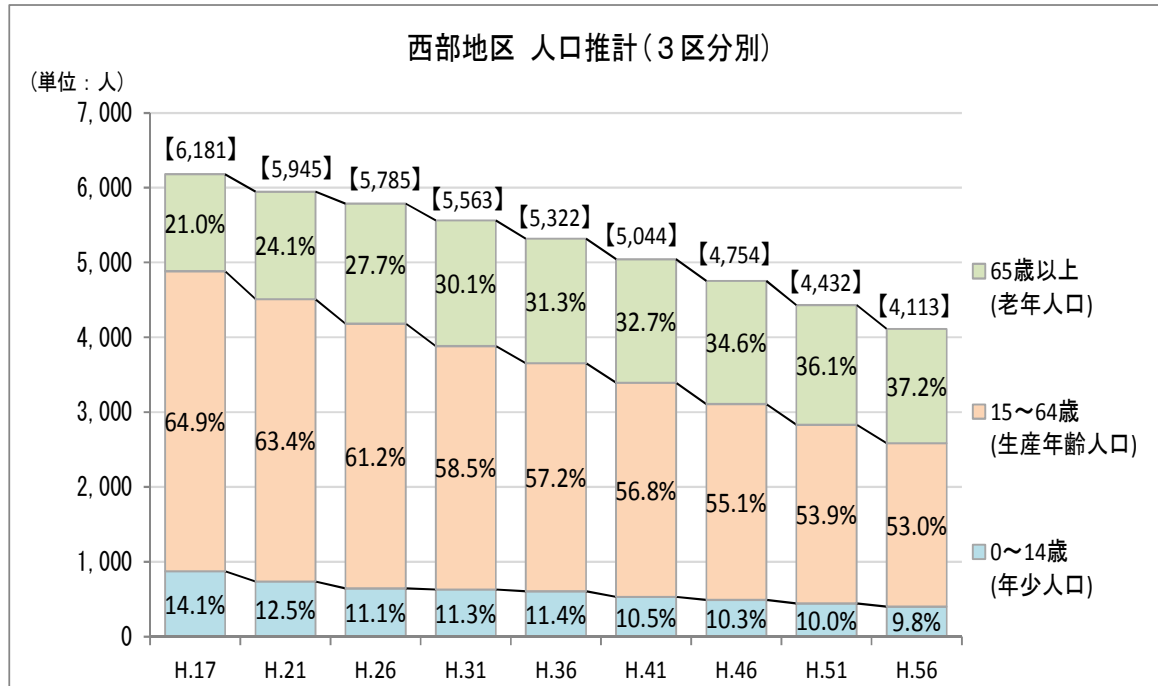
## ◎山田地区公民館エリア

## まとめ

### ■山田地区公民館エリアの概要、データ

人口	5,674人 (H29.3.31)
高齢化率 (65歳以上)	29.2% (H29.3.31) ※市全体30.1%
世帯数	2,496 (H29.3.31)
交通条件・地理的条件	鉄道：JR紀伊山田駅 市の西部に位置し、南側には紀の川、北側は金剛生駒紀泉国定公園の山並みを望む地域。市街地は紀伊山田駅を中心に広がっている。
観光資源・特産品・施設等	一言主神社、三石山不動寺、光三宝荒神、不動の滝、やっちゃん広場、神野々緑地、天然温泉ゆの里 公共施設：山田地区公民館、あさもよし歴史館、岸上文化センター、西部小学校、柏原保育園、紀北工業高校

◎年齢3区分別人口の推計



	H17	H21	H26	H31	H36	H41	H46	H51	H56
65歳以上	1,298	1,434	1,602	1,676	1,667	1,648	1,646	1,600	1,528
15～64歳	4,009	3,770	3,539	3,256	3,046	2,864	2,619	2,389	2,181
0～14歳	874	741	644	631	609	532	489	443	404
合計	6,181	5,945	5,785	5,563	5,322	5,044	4,754	4,432	4,113

住民基本台帳をベースにコーホート変化率法により推計

出典：橋本市公共施設等総合管理計画（基本方針編）

### ■山田地区公民館エリアの特徴

地域づくりに活かしていきたいところ (良いところ)	改善していきたいところ (課題となっていること)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の助け合いがいい</li> <li>・顔見知りが多い</li> <li>・住宅が増えている</li> <li>・近所とのつながり、コミュニケーションがある</li> <li>・北部は自然豊か</li> <li>・南部は生活の利便性が高い</li> <li>・各地区のつながりがよい</li> <li>・数年前から野菜作りが盛んで、ひとつの文化として育ってきている</li> <li>・高齢者が自主的に通学を見守っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の役員になってくれる人が少なく、特に若い層に多い</li> <li>・区域が広いので、知りたい情報が得られなくなった</li> <li>・少子化により学校がなくなり親近感がなくなった</li> <li>・特色がない（少ない）</li> <li>・休耕田が増えてきている</li> <li>・都市型と地方型に二分</li> <li>・車がないと生活しづらい</li> <li>・人口減少、住む人の少ない空き家増。いつか区がなくなるかも</li> <li>・京奈和道の車の騒音気になる！</li> <li>・若い人、子どもが少ない。後継者不足</li> </ul>

### ■みんなで作る将来の山田地区公民館エリアの姿（こんなまちになればいいな）

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人たちが住めるまち（仕事、交通）</li> <li>・今の住人がこのまま住み続ける努力をする</li> <li>・新旧の住民が交流できるまち</li> <li>・子どもが大人を警戒しなくて良いまち</li> <li>・世代を超えて仲良く話し合えるまちに</li> <li>・高齢者が素直に子どもに声掛けできるまち</li> <li>・子どもたちの元気な声が聞こえるまち</li> <li>・みんなで助け合うまち</li> <li>・地域の活力があるまち</li> <li>・若い人達が住みたいと思える特別なまち</li> <li>・子ども、高齢者が安心して暮らせるまちに</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに声をかけあえるまち</li> <li>・親子三世代くらいが近くに住めるような地域にしたい</li> <li>・楽しく農業ができるまち</li> <li>・世代をこえたつながり</li> <li>・小学生と高齢者との交流を深める事業をすべき</li> <li>・紀北工業高校と連携したまちづくり</li> <li>・ボランティア活動を積極的に取り入れた地域づくり</li> <li>・全ての世代が関わり合える</li> <li>・主婦の目線に立った政策</li> </ul> |
|--|---|

### ■将来像の実現に向けての取り組み・活動

誰が	できること（何ができるかな？）
自分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分からの挨拶と声掛け</li> <li>・元気で健康を保っていく地域社会に取り組んでいきたい</li> <li>・健康管理</li> <li>・地域の行事、活動に積極的に参加していく</li> <li>・色々な会議にも参加して人との会話をしたい</li> <li>・地域住民の各人が地域活性化に何ができるかを考え地域行事に極力参加</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の役に立つことに協力していく</li> <li>・たすけ愛はしもとに参加する</li> <li>・何でも話し合える機会をつくる（行事等）</li> <li>・意見をとりまとめて1つに集約し、全体で取り組む</li> <li>・異世代の交流事業を計画する</li> <li>・地域の活動に関心を持ち続けること</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主婦の目線に立った政策（ゴミ等生活に関する）</li> <li>・情報システム化 全ての人に同じ情報を</li> <li>・地域の人の意見を聞くのも大切だが、若い人の意見、考え、思いを聞く機会を増やしていくのが大事</li> <li>・行政がリーダーシップをとって進める</li> <li>・きめ細やかな政策</li> <li>・各地区の取り組みを支援して！コーディネート！</li> </ul>

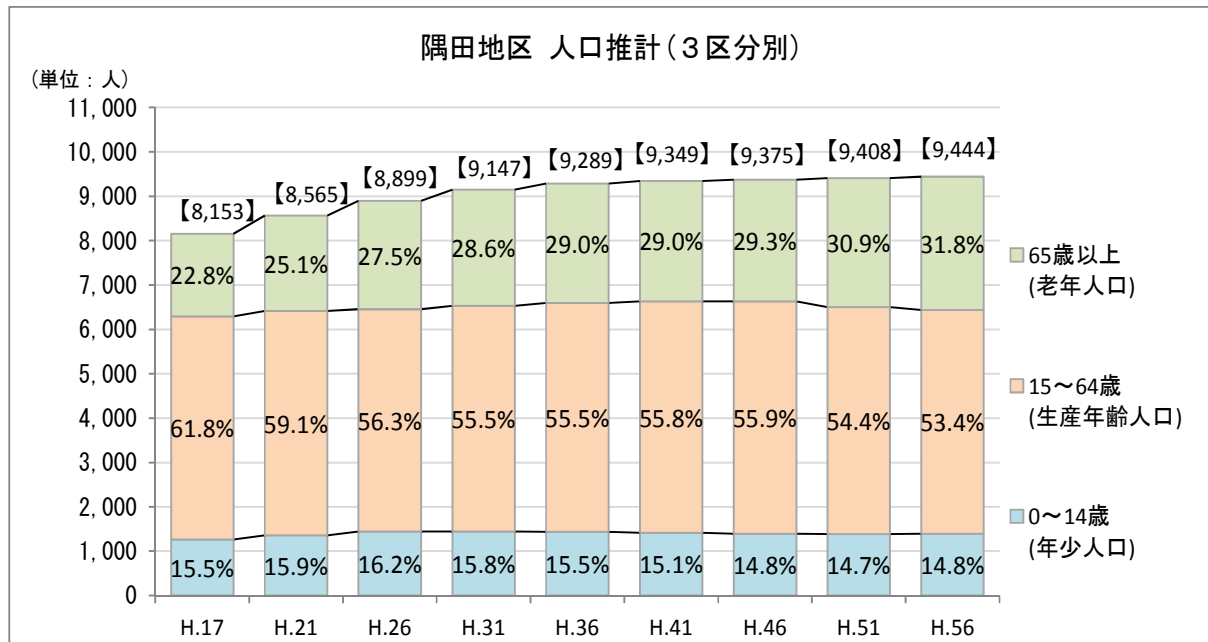
## ◎隅田地区公民館エリア

## まとめ

### ■隅田地区公民館エリアの概要、データ

人口	8,912人 (H29.3.31)
高齢化率	27.9% (H29.3.31) ※市全体30.1%
世帯数	3,701 (H29.3.31)
交通条件・地理的条件	鉄道：JR和歌山線隅田駅、下兵庫駅 京奈和自動車道：橋本東IC 市東部に位置し、新たな住宅開発が進む。橋本東IC付近に大規模店舗集積地区が見られ、今後企業誘致用地の造成も見込まれている。
観光資源・特産品・施設等	隅田八幡神社、利生護国寺、丸高稲荷神社、真土万葉の里、橋本カントリークラブ、岩倉池 公共施設：隅田中学校、隅田小学校、あやの台小学校、浄水場

◎年齢3区分別人口の推計



	H17	H21	H26	H31	H36	H41	H46	H51	H56
65歳以上	1,857	2,147	2,447	2,619	2,692	2,715	2,747	2,908	3,006
15~64歳	5,036	5,059	5,009	5,081	5,159	5,220	5,237	5,114	5,043
0~14歳	1,260	1,359	1,443	1,447	1,438	1,414	1,391	1,386	1,395
合計	8,153	8,565	8,899	9,147	9,289	9,349	9,375	9,408	9,444

住民基本台帳をベースにコーホート変化率法により推計

出典：橋本市公共施設等総合管理計画（基本方針編）

### ■隅田地区公民館エリアの特徴

地域づくりに活かしていきたいところ (良いところ)	改善していきたいところ (課題となっていること)
<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史がいきづいている</li> <li>自然豊か</li> <li>地域が活きている</li> <li>古い伝統の残るまち</li> <li>古いまち、新しいまちが並存して多様なまち</li> <li>農産物、野菜づくりがさかん</li> <li>北部地域の開発がすすんでいる</li> <li>皆さんに「学びたい」姿勢がある</li> <li>隅田中学は生徒間のつながりが強くマナーがいい</li> <li>昔からのつながりが残っている</li> <li>伝統行事が残っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民の行政への参加の気持ちが薄い</li> <li>既存市街地と新市街地があり、一体感に欠ける</li> <li>若い人参加率</li> <li>校区が広く通学に不便</li> <li>新しいまちと古いまちの交流が見えない</li> <li>農業従事者の高齢化（後継者難）</li> <li>家の前に生えてる草くらい自分で引こう！</li> <li>隅田地区公民館エリアが大きくなって、細かい配慮ができない</li> <li>車がなければ生活できない</li> <li>若い方たちとの会話、交流が少ない</li> <li>近所のつながりが重く感じる</li> <li>北の開発、南は過疎化が進み、分断されているように思う</li> </ul>

### ■みんなでつくる将来の隅田地区公民館エリアの姿（こんなまちになればいいな）

- 三世代が同居、近居しているまち
- 子どもと一緒に生活できる
- 各世代の人がまんべんなく住む町
- 古いつながりを新しい世代、住人の方にも生かし続けていけたら
- 古いまち、新しいまちの特徴が現れた活気のあるまちであってほしい
- 隣の家の人を見守れるような日常にしたい
- 地域住民同士で顔が見える住民交流のあるまち
- 皆があいさつできる地域に
- 空き家を使ってサロンを増やす（高齢者と乳幼児親子、学童との交流の場）
- 隣、近所の人の様子を知り合えるような人間関係を作る
- 伝統行事をまちぐるみで取り組む

### ■将来像の実現に向けての取り組み・活動

誰が	できること（何ができるかな？）
自分	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民のために行動したい</li> <li>勇気をもって行動したい</li> <li>子どもたちが元気に、思いやりを持てる子どもに育つように出来ることをしたい</li> <li>地域の高齢者の昔の話を子どもにしてあげる場所を作る</li> <li>散歩時や各行事のとき積極的なあいさつをする</li> <li>まわりの人を知る努力</li> <li>自分の子どもを地域行事に参加させる</li> <li>活動の核となるグループ、組織を作りたい</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>もっとミニマムな発言の場が作れないか</li> <li>地区で若い人が行事に参加できるようにする</li> <li>色々な世代が出てくるようなイベントをする</li> <li>地域高齢者の見守り隊を作る</li> <li>隅田地域の良い所をアピールする</li> <li>隅田で続いている敬老会と野菜まつりを交流の場や上手に活用</li> <li>高齢者の把握（班単位での情報）</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民の行政に対する要望が多すぎる</li> <li>行政と共に活動に参加、協力する</li> <li>若い人に出てきてもらうような取り組み</li> <li>地域行事の広域化への助力（校区を越えた行事）、横のつながり</li> <li>放棄地を世代間交流に使えるアイデアを募集してほしい</li> <li>優先順位を具体的に発表する</li> <li>仕事場の確保</li> </ul>

※ シート左側：地区公民館エリアの特徴 右側：当日グループワークで出た意見

## ◎紀見北地区公民館エリア

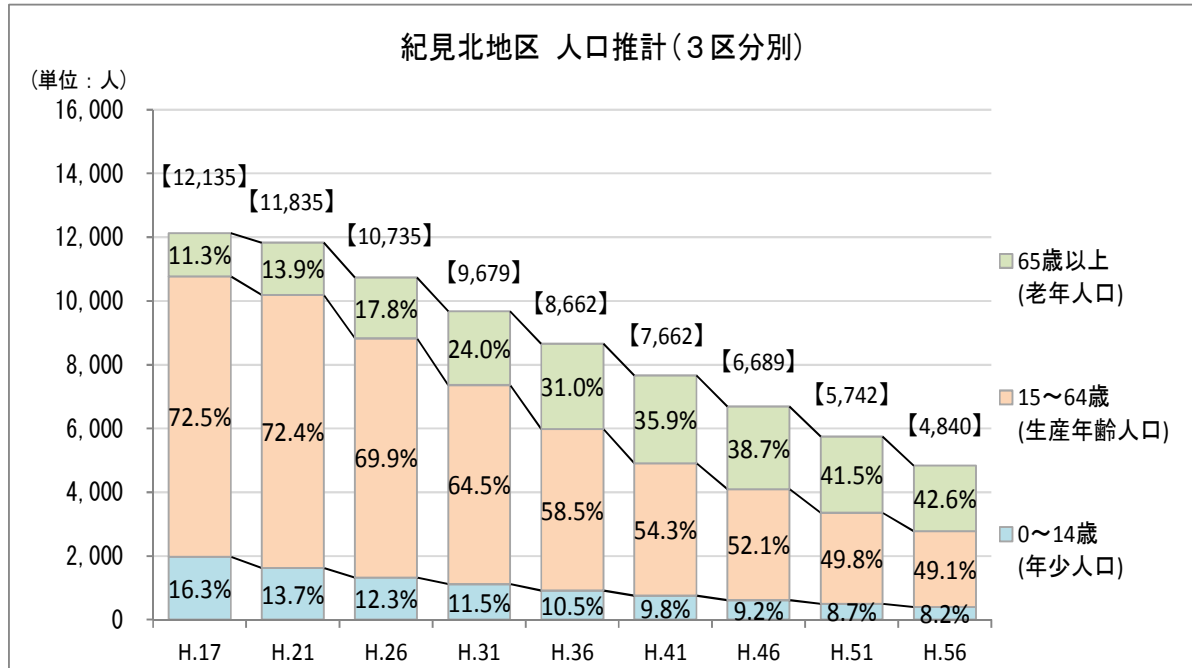
## まとめ

### ■紀見北地区公民館エリアの概要、データ

人口	10,311人（H29.3.31）
高齢化率	21.5%（H29.3.31） ※市全体30.1%
世帯数	4,023（H29.3.31）
交通条件・地理的条件	鉄道：南海高野線林間田園都市駅、紀見峠駅 市中央北部に位置し、大規模住宅開発による新興住宅地が広がる一方、北部には金剛生駒紀泉国定公園の山並みが広がり、紀伊見峠宿場跡など自然と歴史にも恵まれた地域。
観光資源・特産品・施設等	葛城神社、慶賀野蛭子神社、高山森林公園、越ヶ滝キャンプ場、紀伊見荘、芋谷の棚田、紀伊見峠宿場跡 公共施設：紀見北中学校、柱本小学校、三石小学校

※紀見北地区：紀見ヶ丘、橋谷、慶賀野、光陽台、三石台、柱本、矢倉脇

◎年齢3区分別人口の推計



	H17	H21	H26	H31	H36	H41	H46	H51	H56
65歳以上	1,366	1,648	1,908	2,321	2,684	2,749	2,588	2,382	2,064
15～64歳	8,795	8,566	7,503	6,245	5,066	4,163	3,485	2,862	2,378
0～14歳	1,974	1,621	1,324	1,113	912	750	616	498	398
合計	12,135	11,835	10,735	9,679	8,662	7,662	6,689	5,742	4,840

住民基本台帳をベースにコーホート変化率法により推計

出典：橋本市公共施設等総合管理計画（基本方針編）

### ■紀見北地区公民館エリアの特徴

地域づくりに活かしていきたいところ (良いところ)	改善していきたいところ (課題となっていること)
<ul style="list-style-type: none"> <li>公園が多くてたくさん遊べる</li> <li>田舎と都会のよさをあわせ持っている</li> <li>学校の活動が地域を巻き込んで活発</li> <li>自然が多く、水がきれい</li> <li>公民館も便利な所にあり、活動も活発で楽しめる</li> <li>協力的な人が多い（学校支援など）</li> <li>郵便局、銀行、スーパー等があり日常生活には困らない</li> <li>人との挨拶がよく出来ている</li> <li>自然が多く、静かて人がおだやか</li> <li>教育等施設が集中しているので住みやすい</li> <li>色んなイベントがあって一人ひとりが助け合えて協働できている</li> <li>公民館中心にエリア内の合同行事がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夜道が暗い（防犯灯が少ないところがある）</li> <li>市の予算が少ないのに高齢者ばかりが増えて困るという意見があり、心苦しい</li> <li>意識が都会的で地域に関心がうすい</li> <li>新興住宅地が多く、隣同士の顔が見えにくい</li> <li>高速開通で車が多くてこわい</li> <li>人のつながりをさらに深めるイベントや日常的行動を考える</li> <li>柱本地区の自然文化、三石地区の都会的空間の融合を</li> <li>行事の重なりがあって参加しづらい</li> <li>子どもとシニアが気兼ねなく自由に集える施設がほしい</li> <li>まちのアップダウンが激しい</li> <li>校区が広い</li> </ul>

### ■みんなで作る将来の紀見北地区公民館エリアの姿（こんなまちになればいいな）

- 老若男女問わず、もっと色々幅広い年齢層で参加できるイベント、サークルを増やしてほしい
- 子どもだけで遊べるような安全な遊び場所の確保
- 子どもと大人等違う年の人達が話し合える場
- 最後まで自立して自宅で過ごせるまち
- 子どもも大人もそれぞれに活躍できる
- 子どもたちがずっと住もうと考えるまちづくり（が必要）
- 多くの高齢者がさらに地域行事や支援に携わる仕組み
- 人とのつながりを大切にしながら暮らせるまち
- 自然を壊さずにみんなが行きたくするような施設があるまち
- 友達を多くして元気でいつまでも過ごしたい
- いつまでも自然豊かで住宅地はきれいなまちであってほしい
- 子どもから大人まで、美しい景色を見ながら山歩き、散歩
- 新市街地と既存市街地が混在している
- みんなの笑顔が満開になり、住みやすいまちに
- 子どもと高齢者が共存するまち。気兼ねない交流

### ■将来像の実現に向けての取り組み・活動

誰が	できること（何ができるかな？）
自分	<ul style="list-style-type: none"> <li>まわりの方々とコミュニケーションをとりながら助け合いたい</li> <li>地域の掃除やボランティアに参加する</li> <li>この地区に住み続ける</li> <li>学校で地域のよさを実感できる取り組みを増やす</li> <li>地域でのあいさつ、声かけ運動などを促す</li> <li>ごみを見かけたら拾う</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰でも自由に出入りしておしゃべりできる場を作る</li> <li>地域のつながりが深まるような事業を企画する</li> <li>老人会や学校など、年に何回かそれぞれどんなことをするのか行って一緒に遊ぶ</li> <li>おじいちゃんおばあちゃんと子どもたちのふれあいをもっともつ機会をつくる</li> <li>社会資源（学校と地区会など）の連携</li> <li>地域間の連携（自然、イベント）</li> <li>地域行事への親子での参加</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地のよいところを全体に知らせてほしい</li> <li>お金を有効に使うよう、庁内の連絡を密に</li> <li>情報共有システム 地域と市（行政） イベントだけでなく、貢献できるボランティア情報とか</li> <li>独居（高齢化）の方への共助の方法</li> <li>もっと橋本以外の人にここの自然のよさを宣伝してほしい（インターネット、ホームページ、駅にポスター）</li> <li>市民にわかりやすい説明をしてほしい</li> </ul>

# 「高野口住民熟議」

## まとめ

### (1) 産業の振興と雇用を創出し定住できるまち

- 再織を中心に産業の新興と雇用を作り出していく
- 農業はある程度の収入がなければやっていけない（機械の貸付がない、人がいない→手が出ない）。
- 伊都中央高等学校の取り組み
  - ・介護職員初任者研修を実施（橋本市職員・商工会からも講師になっている）
  - ・ボランティア、アルバイトを通して求人結びつける（地元の企業の担い手となる）
- 農業と織物を活性化、融合できるのでは
- ブランド化、生産と販売の一連化、稼ぐことが活性化になる
- 高野口という名前の売り出しと裁ち寄り処とつなげて活性化していけるとよいのでは
- 京奈和の道もできて便利になってきている中、何かするとしても駐車場がないのでどうにかできないか
- まちの活性化のためには若い人が集まる手立てがいる。祭り、夜店など
- 高野口検定の復活。事務局の設立が出来れば良いと思う
- 耕作放棄地が多いので農業をしたい若い世代につなげていけるようにできないか
- 農業法人ができないか。そうすると若い農業者が増えるのでは？
- 子育てはとてもしやすいまちなのでアピールしては？
- 高野口の織物のブランド化を進める→行政と企業でさらに進めることはできないか

### (2) 安全安心な暮らしを支えるまち

- 自主防災を盛んに取り入れる
- 見守り隊をもっと充実させる
- 若者が高齢者の家に訪問するシステムを作る
- 市民ニーズに合わせたことを試してみることが必要。解決することが必要。
  - ・高齢者が必要とするタクシーの工夫
  - ・直面したときにどうするかを考える
- 新興地から青パトロールが定期的には巡回してくれているが、毎日でもお願いしたい  
→この人たちの協力で高齢者も助けてくれればいいが…（高齢者のニーズ）
- 地域と先生と子どもとつながるコミュニティスクール
- 登下校のあいさつ運動で声掛け。根気よく挨拶する。自分のための介護予防になっている
- 見守り隊があるため安全なまち  
あいさつが交わされコミュニケーションがとれる（声掛け運動）
- 防災マップがある。小学生が調べて地域の人に知らせることもしている。
- 地域でも家庭でも地域の情報共有をすることが大事
- 地域の人達との会話が大事
- 少子高齢化による空き家問題→交流スペースに出来ないか、空き家ごと引き取ってくれないか
- 住民のつながりが薄くなっているため、つながれるような仕組みができないか

### (3) 子どもから高齢者まで共に育む

- 子どもと高齢者とのつながり、出会いの場を増やす
- ボランティア養成→若者に体験をさせて、地域に貢献できる喜びを感じさせる  
→高齢者の知識や力を活かそう
- 異年齢の活動の場を設け、信頼関係を築く（様々な世代の交流）
  - 公民館活動を学校で実施
  - 地域のスポーツも学校で実施
- 地域に高校があることは大きな力→今以上にできることはあるだろう（公の場をもっと活用する）
- 予算がないだけでなく、〇〇は責任もってやるということと言わないと住民はしんどくなる
- 今昔プロジェクト（わが町高野口など）学校の地域学習に一般の人が参加できる機会があれば良い
- 職場体験を通じて、地域の人とつながれる
- 小学校と高齢者がつながれる企画ができないか
- こども食堂→高齢者や大人も利用できるようなになれば、元気な高齢者がボランティアとして  
こども食堂をしてみてもいいか？